

令和二年 新年賀詞交歓会を開催

三屋裕子 スポーツプロデューサー

1月5日(日)午後、TKP 品川にてスポーツプロデューサー 三屋裕子様をお招きして「人を活かすリーダーシップのヒント ～思いやりの心がビジネスを育てる」と題して新春講演会を開催した。創友会幹事メンバーや協力企業様、そして全社員を対象に258名の方々が参加した。

三屋様からは「AIやデジタル化がいくら進歩しても、人を育てることは人でしか出来ない。スポーツ界も気合や根性での育成ではなく、今は常日頃から失敗したときに・・・何故?と自ら考える思考の整理によって成長する、との考え方に変わってきた。今の理想のリーダーは一人ひとりを活かすサーバント型リーダーで組織や環境を整える役割へ。バレーボールは他人からボールを貰って成立するゲームであり、自分は他人のために何が出来るかということがボール(仕事)が繋がっていくことに。一人ひとりにはレーバー(作業員)ではなく、考えながら仕事をするワーカーでなくてはチームワークは生まれない。」また、ご自身が好きな言葉としてゲーテの格言『財産を失ってもまたつくればよい。名誉を失っても、もともとなかったと思えば生きていける。しかし勇気を失ったら、生きている値打ちがない。』を引用され、「楽な道を選ばない勇気を持つことの大切さ」を強調されるとともに、「考え方ひとつで心の重荷に打ち勝てる。」とのお助言があった。

